

平成 26 年 10 月 27 日

東海市総合福祉計画推進協議会

第2次東海市総合福祉計画の達成状況等について

1 概要

第2次東海市総合福祉計画は、地域福祉計画を根幹として、障害者福祉計画、高齢者福祉計画及び児童福祉計画で構成されています。

平成17年度を初年度とし、平成26年度を目標年度とするもので、中間年である平成21年度には本協議会の承認を得て見直しを図り、制度改正等により現状にあわなくなった成果指標の見直しを中心に、新しい目標値の設定及び指標（サブ指標）の追加を行いました。

また、第6次総合計画と整合性を図るため、本計画を1年前倒しして、平成25年度までとすることを平成24年度の本協議会で承認を得ました。

本年度の協議会においては、本計画の最終年度（平成25年度）であることから「成果指標の達成状況」及び「計画の評価」を報告し、委員の方々に御意見を願います。

2 成果指標の達成状況

指標の設定	指標の数 (サブ指標を含む)	目標値（平成26年度） を達成できたもの	平成15年度現状値との変化 (サブ指標については平成20年度比較)		
			数値が向上したもの	数値が悪化したもの	比較ができないもの又は変化のないもの
地域福祉計画	36	11	25	6	5
障害者福祉計画	27	6	18	4	5
高齢者福祉計画	26	11	18	6	2
児童福祉計画	23	8	15	4	4
合計	112	36	76	20	16
割合（%）	—	32.1	67.9	17.8	14.3

(指標の総評)

サブ指標を含む112の指標うち、目標値（平成26年度）を達成した指標は、36指標（32.1%）であり、第2次総合福祉計画の達成状況は3割程度となり

ました。

ただし、平成15年度（サブ指標については平成20年度）現状値と比較すると、76指標（67.9%）が向上しており、目標値に達していなくても、福祉施策全体としては、前進していると考えられます。

3 計画の評価

(1) 地域福祉

社会福祉協議会、民生委員・児童委員連絡協議会始め各種団体等と連携を図りながら、それぞれの活動への支援に努めてまいりました。

ボランティア情報等の提供を社会福祉協議会を中心として行ってまいりました。福祉啓発講座や福祉体験活動に多くの市民が参加することにより、市民の福祉への関心が高まってきました。

知多5市5町の共同で、特定非営利法人知多地域後見センターへ委託し、成年後見利用促進事業を行う等権利擁護の普及・推進に努めてまいりました。

災害時の要援護者対策につきましては、要援護者登録でとどまっており、今後は、地域の実情に合った避難行動支援の仕組みを作るなど要支援者支援を充実していく必要があります。

(2) 障害福祉

障害福祉施設で多くの市民がボランティア活動に携わり、福祉施設の各種行事等が運営されるようになりました。

地域福祉サービスセンターや知多2市2町の共同で、障がい者総合支援センターを設立したことにより、障害者やその家族等の相談窓口が充実してきました。

市内の法人が障害者福祉施設や大池公園売店等を開設・運営、福祉施設等でのパン等の販売を通じ、障害者が市民と触れ合う機会が増えるとともに秋祭り等で障害者理解のためのPRを行うなど、障害者への理解・啓発を図ってまいりました。

今後とも障害者が地域で安心した生活を営むことができるよう、障害福祉サービスの充実が必要となります。

(3) 高齢者福祉

地域支えあい活動団体が増加し、地域での助け合い・見守り活動を通じ、地域

での連携が深まってきました。

認知症予防啓発講座や介護予防事業の開催や健康交流の家の開設により、高齢者の社会参加や交流が促進されました。

介護保険制度が浸透したことにより、市内に介護保険施設が多数設立され、在宅福祉サービスが充実するとともにひとり暮らし高齢者に対する介護保険サービス以外の福祉サービスも充実してきました。

高齢者の健康意識の高まりにより、健康診断の受診率の向上や毎日運動している方が増加してきました。

今後は、認知症高齢者対策や介護保険制度の改正に的確に対応し、高齢者福祉の増進が必要となります。

(4) 児童福祉

児童・生徒の登下校時に老人クラブ会員などによる見守り活動が活発になり、児童・生徒の犯罪被害の抑制が図られました。

保護者が安心して子育てし、子どもが健やかに成長できるよう、各種教室、健診や相談等で情報提供をするとともに、子育て支援センターを順次、開設し子育て支援の充実を図ってまいりました。

保育園定員の増加等により保育サービスの充実を図ってまいりました。

子ども医療助成等各種助成や手当の支給により子育て家庭の経済的負担の軽減に努めてまいりました。

多くの児童・生徒が夏休みボランティア体験やボランティアとして地域行事に参加することを通じ、福祉への理解が深まるとともに、健やかに成長してきました。

今後とも家庭、地域、市などが一体となって子育て支援を推進する必要があります。

第2次東海市総合福祉計画数値目標等一覧表(確定版)

平成26年10月27日
東海市総合福祉計画推進協議会資料

第3章 地域福祉計画

数値目標		成果指標算出方法	単位	平成15年度 現状値 (サブ指標は 平成20年度)	目標値 (平成26年度)	平成25年度 現状値	目標値の 達成状況	現状値 の変化	説明	施策の評価	担当課等
<p>施策 活動団体、組織等への支援の充実に努めます</p>											
1	NPO法人数	市内に主たる事務所の所在地があるNPO法人 (特定非営利活動法人)	団体	5	15	13	×	○	東海市在宅介護家事援助の会 ふれ愛始め13団体 まちづくり協働事業の実施事 業数(地域防災リーダ育成事業 始め11事業)	活動団体、組織等への支援 を継続的に行い、NPO法人 数は増加したが、目標値は達 成できなかった。	市民協働課
	サブ指標：行政とNPO協働事業の数	NPO活動状況を評価できるようにする	事業	3	20	11	×	○			
<p>施策 孤立しがちな課題を持つ方への対応を図ります</p>											
2	孤立しがちな課題を持つ方に係る 啓発講座参加者数	精神、身体、知的障害者の啓発講座の参加者数	人/年	130	300	71	×	×	社会福祉協議会：ひきこもり 支援講演会71人 ひきこもり支援講演会：1回	ほっとプラザにおいて啓発 を推進。周知は図られてきて いる。	社会福祉協議会
	サブ指標：障害者啓発事業開催数	啓発の実態を評価できるようにする	回/年	3	4	1	×	×			
<p>施策 福祉コミュニティ体制の構築を図ります</p>											
3	福祉コミュニティ拠点施設箇所数	小学校区毎に福祉の見守り活動や災害時要援護者の 支援活動などの市民の福祉活動、交流の拠点場所数	か所	0	12	3	×	○	富木島コミュニティ、緑陽コミュニティ、 三ツ池コミュニティ	見守り活動や要配慮者に対 する意識が向上した。	社会福祉協議会
	サブ指標：要援護者支援体制人数	各町内会、自治会で要援護者に災害時に伝達、誘導する人員	人	0	460	59	×	○			
<p>施策 災害時の要援護者を支援する仕組みづくりに努めます</p>											
4	要援護者支援体制人数	各町内会、自治会で要援護者に災害時に伝達、誘導する人員	人	0	460	59	×	○	横須賀・荒尾地区民協をテ ル地区として個別支援を実施	民児協との連携において地 域の意識も向上した。	社会福祉課 社会福祉協議会
	サブ指標：個別支援計画の作成数	要援護者支援体制を評価できるようにする	件	0	550	228	×	○			
<p>施策 地域・福祉ボランティアの育成を進めます</p>											
5	ボランティア活動相談員数	ボランティアセンターに設置した相談員数	人	13	20	13	×	=	ボランティア相談員 相談件数	ボランティアによる相談に より窓口機能が向上した。	社会福祉協議会
	サブ指標：相談があった件数	相談状況を評価できるようにする	件/年	137	200	160	×	○			
6	ボランティア講座の参加者数	社会福祉協議会が開催する講座の参加者数	人/年	242	500	491	×	○	ボランティア福祉体験教室：370 人、災害ボランティアセンター設置運 営訓練：121人 目標各講座2回以上開催	ボランティア活動への意識 は向上した。講座後のフォ ローについて検討が必要であ る。	社会福祉協議会
	サブ指標：講座開催数	ボランティア推進事業を評価できるようにする	回/年	8	12	2	×	×			
7	市民活動の紹介事業である 社会福祉協議会広報誌発行回数	市民活動の紹介事業である社会福祉協議会広報誌の発行回数	回/年	4	12	6	×	○	社協広報「とうかいの福祉」	事業内容の広報について継 続的な取り組みが必要。	社会福祉協議会
	サブ指標：ボランティア交流会の参加者数	社会福祉協議会が開催するボランティア交流会の参加者数	人/年	70	150	115	×	○			
8	知多地域や愛知県内等で開催される 交流会の参加者数	ボランティア推進事業を評価できるようにする	人/年	24	30	5	×	×	知多ブロックボランティア研修	広域的な交流会ではなく、 市内でのつながりについて継 続的な取り組みが必要。	社会福祉協議会
	サブ指標を設定し、コーディネートした回数	ボランティア推進事業を評価できるようにする	件/年	137	200	160	×	○			
9	ボランティアコーディネーター人数	社会福祉協議会が設置するボランティアコーディネーターの人数	人	1	2	1	×	=	社協職員が他業務と兼任 社協職員がコーディネーターとして 従事するため、ボランティア相談 件数と同一となる。	従事職員を極力固定したこ とにより、情報の収集、把握 が適格化した。	社会福祉協議会
	サブ指標を設定し、コーディネートした回数	ボランティア推進事業を評価できるようにする	件/年	137	200	160	×	○			
<p>施策 情報提供の推進を図ります</p>											
10	ホームページの更新頻度	社会福祉協議会及び市のホームページの更新頻度	回/週	随時	1	1	○	○	社会福祉協議会 社協ホームページと市ホーム ページ20%分	情報提供の主媒体として機 能を明確にできた。	社会福祉協議会
	サブ指標：ホームページの閲覧回数	福祉情報の発信状況を評価できるようにする	回/年	133, 135	150, 000	172, 577	○	○			
<p>施策 利用者の権利を守るよう保護します</p>											
11	日常生活自立支援事業利用者件数	社会福祉協議会が実施する 日常生活自立支援事業の市内の年間利用件数	件/年	15	150	30	×	○	日常生活自立支援事業	必要に応じたサービスの提 供が明確化。	社会福祉協議会
	サブ指標を設定し、コーディネートした回数	ボランティア推進事業を評価できるようにする	件/年	137	200	160	×	○			
<p>施策 在宅介護支援センターの運営を推進します</p>											
12	地域包括支援センター(H18.4～名称変更) での相談件数	市内の地域包括支援センターへの各種の相談件数	件/年	5, 110	10, 000	7, 911	×	○	市で作成した「ささえ愛ガ イドブック」等の各種冊子へ の連絡先掲載や問い合わせが あった際の地域包括支援セン ターのご案内を積極的に行っ ているものの更なる利用推進 が望まれる。一方で、長年に わたる相談事業等の実施によ り相談案件自体が減少する効 果が表れたものとも考えられ る。		高齢者支援課
	サブ指標を設定し、コーディネートした回数	ボランティア推進事業を評価できるようにする	件/年	137	200	160	×	○			
<p>施策 身近な相談体制の構築に努めます</p>											
13	身近な相談員数(各町内会・自治会単位)	市民の身近な相談事項を行政につなげるため、 各町内会・自治会に市民主体の相談員を新たに設置する	人	0	1	0	×	=	相談件数1人あたり16.5件	障がい者総合支援センター が設立される等一定の相談体 制が構築ができた。	社会福祉課
	サブ指標：民生委員が受けた相談件数	身近なところでの相談の状況を評価できるようにする	件/年	583	600	1, 372	○	○			
<p>施策 市民啓発の推進を図ります</p>											
14	福祉啓発講座参加者数	精神、身体、知的障害者の啓発講座の参加者数	人/年	130	300	71	×	×	社会福祉協議会：ひきこもり 支援講演会71人	ほっとプラザにおいて啓発 を推進。周知は図られてきて いる。	社会福祉協議会
	サブ指標を設定し、コーディネートした回数	ボランティア推進事業を評価できるようにする	件/年	137	200	160	×	○			
<p>施策 福祉教育を推進します</p>											
15	福祉施設における福祉体験活動の受入回数	市内各福祉施設での福祉体験活動の年間回数	回/年	1	12	37	○	○	福祉施設イベント：2回 夏休みボランティア体験：35回(社 協把握分)	市民、施設とも活動における 意識は向上。	社会福祉協議会
	サブ指標を設定し、コーディネートした回数	ボランティア推進事業を評価できるようにする	件/年	137	200	160	×	○			

										施策 人にやさしいまちづくりの推進に努めます	
16	福祉マップの更新頻度	福祉マップの情報内容の更新頻度		1回/3年	1回/年	1回/2年	×	○	24年度に防災福祉マップ更新	必要とされる方への情報誌として周知は図られている。	社会福祉協議会
									施策 専門的人材の育成に努めます		
17	ホームヘルパーの養成講座開催回数 サブ指標：生活に困難な福祉的課題の方を対象とする相談事業に携わる人数	市内公共施設でのホームヘルパーの養成講座の年間回数 専門的人材が活躍できているかどうかの状況を評価できるようにする	回/年	0	2	0	×	=	職員数	専門的人材育成については民間機関が充実してきている。	社会福祉協議会
									施策 サービス拠点づくりに努めます		
18	ミニデイサービス開催箇所数		か所	2	12	29	○	○	ふれあいいきいきサロン	住民の意識は向上しているが、継続的な実施に向けての仕組み作りが課題である。	社会福祉協議会
									施策 市民ニーズの情報収集に努めます		
19	市民ニーズの調査回数	総合計画及び総合福祉計画などで調査する回数	回/10年	1	2	1	×	=		各種福祉団体との意見交換会を継続的に実施した。	社会福祉課
									施策 保健・医療・福祉サービス推進体制の整備に努めます (医療機関との連携による専門的、総合的なサービスの提供)		
20	保健・医療・福祉機関の連携が十分図られていると感じる各機関の従事者の割合	(総合計画指標) 保健・医療・福祉機関の連携が十分図られていると感じる従事者(医師、保健師、看護師など)の数/アンケート回答総数×100	%	9.2	20.0	31.4	○	○		目標値より上回ってきている。今後より連携が図られるよう努める必要がある。	健康推進課
									施策 地域福祉活動計画の推進を図ります		
21	地域福祉活動計画の策定	社会福祉協議会での地域福祉活動計画の策定状況		未策定	16～17年度策定	策定済	○	○	H22年度に策定	計画の遂行に向けて、年度計画においても5ヵ年計画を反映。	社会福祉協議会
									施策 要援護者の発見に努めます		
22	要援護者通報件数 サブ指標：児童に係るケア会議開催回数	民生委員、市民などからの要援護者発見の月間通報件数 援護を要する方への支援体制の状況を評価できるようにする	件/月 回/年	1 28	5 30	5 34	○ ○	○ ○	子育て支援課分:要保護 年2回、定例 年12回、個別 随時	子どもの虐待を防止するため要保護児童対策協議会等関係機関との連絡調整会議を開催した。個別会議が増加傾向にある。	社会福祉課 女性・子ども課 社会福祉協議会
									施策 福祉サービスの利用ができる仕組みづくりを推進します		
23	地域福祉サービスセンターの相談件数 サブ指標：ひきこもり支援事業所「ほっとぷらざ」の相談件数	社会福祉協議会に設置する地域福祉サービスセンターでの年間相談件数 市民に対する相談支援体制の状況を評価できるようにする	件/年 件/年	2,135 200	3,000 300	1,192 288	×	×		アウトリーチにおける地域課題の抽出を実施。相談とまちづくり事業の連携を継続。	社会福祉協議会
									施策 緊急時に対応できる仕組みづくりを推進します		
24	障害者のホームヘルプサービス利用時間数	身体、知的、精神障害者のホームヘルプサービス利用の年間時間数	時間/年	8,624.0	20,000.0	34,030.8	○	○	居宅:22885.75時間 移動:11145.0時間	各種福祉制度の充実により、仕組みが整備されてきた。	社会福祉課

* 「目標値の達成状況」及び「現状値の変化」の凡例

○：数値が改善したもの ×：数値が悪化したもの —：比較のできないもの =：変化がないもの

○ 11 25

× 25 6

— 0 0

= 0 5

S T 36 36

第4章 障害者福祉計画

数値目標		成果指標算出方法	単位	平成15年度 現状値 (サブ指標は 平成20年度)	目標値 (平成26年度)	平成25年度 現状値	目標値の 達成状況	現状値 の変化	説明	施策の評価	担当課等
<p>施策 地域での協働の仕組みづくりを進めます</p>											
25	障害者理解の啓発講座の参加者数	精神、身体、知的障害者の啓発講座の参加者数	人/年	130	300	71	×	×	社会福祉協議会：ひきこもり支援講演会71人	ほっとプラザにおいて啓発を推進。周知は図られてきている。	社会福祉協議会
26	障害者団体の会員数	身体障害者福祉協議会、身体障害者の妻と介護者の会、手をつなぐ育成会、肢体不自由児父母の会の会員数	人	830	2,000	760	×	×	H25.6に会員数確定	会員数は横ばいであるが、活動への参加延べ人数は減少したため、参加に対する工夫が必要。	社会福祉課
	サブ指標：会主催の活動に参加した延べ人数	当事者団体の当事者に対する支援状況を評価できるようにする		2,343	2,500	1,964	×	×			
<p>施策 障害者福祉ボランティアの育成を進めます</p>											
27	ボランティア活動相談員数	ボランティアセンターに設置した相談員数	人	13	20	13	×	=	ボランティア相談員	ボランティアによる相談により窓口機能が向上した。	社会福祉協議会
<p>施策 ボランティア連絡協議会の活動を支援します</p>											
28	ボランティアセンター登録者数	社会福祉協議会が設置するボランティアセンターの登録人数	人	1,050	3,000	2,196	×	○	ボランティアグループ：2,047人 個人ボランティア：149人	継続し周知を図る。	社会福祉協議会
	サブ指標：ボランティア育成講座参加者数	ボランティアを増やす体制を評価できるようにする	人/年	—	100	75	×	—	回想法講師：15人、自助具：30人、手話奉仕員：10人、傾聴講座20人、のべ75人	継続活動者の増から、講座の実施について内容も含め検討を進める。	
<p>施策 障害特性に応じた情報提供に努めます</p>											
29	点字版情報資料点数	視覚障害者のために点訳ボランティア等が作成した情報資料の点数	点	1	100	1	×	=	ボランティア情報	点訳グループによる広報誌の点字化を行い、情報提供に努めた。	社会福祉協議会
<p>施策 障害に応じた窓口相談・手続きに努めます</p>											
30	障害者支援に関する相談件数	地域福祉サービスセンター及び知多地域障害者生活支援事業(H18.10～障害者総合支援センター)での相談件数	件/年	2,187	4,000	3,360	×	○	障害者総合支援センター：2,168件 地域福祉サービスセンター：1,192件	相談先として各センターが周知されてきた。今後もさらに相談しやすい環境を作る工夫が必要。	社会福祉課 社会福祉協議会
	サブ指標：障害者ケア会議の開催回数	障害者に対する相談支援状況を評価できるようにする	件/年	68	80	89	○	○	障害者総合支援センター事業報告より		
<p>施策 利用者の権利を保護します</p>											
31	日常生活自立支援事業利用者件数	社会福祉協議会が実施する日常生活自立支援事業の市内の年間利用件数	件/年	15	150	30	×	○	日常生活自立支援事業	必要に応じたサービスの提供が明確化。	社会福祉協議会
<p>施策 施設運営・整備への支援に努めます</p>											
32	知的障害者の施設整備箇所数	市内の知的障害者授産施設、デイサービス施設、短期入所施設の箇所数	箇所				×	○	授産施設1箇所、デイサービス施設0箇所、短期入所施設0箇所	施設運営・整備への支援を継続的に行ったことにより、市内の施設が充実してきた。	社会福祉課
	サブ指標：障害者に対し日中活動支援(通所授産所など)をする市内事業所の定員数	障害者が利用できる施設整備状況を評価できるようにする	人	—	180	166	×	—	授産施設2箇所、デイサービス施設1箇所、短期入所施設2箇所		
<p>施策 障害者への理解を深める事業をします</p>											
33	社会で障害者が理解されていると思う人の割合	(総合計画指標48) 社会で障害者が理解されていると思う人の数／アンケートの回答総数×100	%	21.9	35.0	34.6	×	○		障害者と触れ合う機会が増えたことにより、障害者への理解が深まった。	社会福祉課 企画政策課
<p>施策 保健事業の充実による障害の早期発見・早期療育を図ります</p>											
34	1歳6か月児健診受診率	受診人数／対象者数×100	%	95.9	100.0	96.7	×	○	対象児1,322人、受診1,261人	受診率に変動あり。全員受診を目指して周知と勧奨を進める。	健康推進課
35	3歳児健診受診率	受診人数／対象者数×100	%	89.7	100.0	92.8	×	○	対象児1,247人、受診1,094人	受診率の向上があった。何によるものか評価しがたいが、今後の動向を観察する必要がある。	健康推進課
<p>施策 障害者の機能回復・機能補完を支援します</p>											
36	補装具交付件数	(総合計画指標52) 1年間に新たに補装具の交付を受けた件数	件/年	495	2,800	1,892	×	○		自己負担の軽減を図りながら、補装具・日常生活用具を適切に給付することにより障害者を支援した。	社会福祉課
37	日常生活用具給付件数	1年間に新たに日常生活用具の交付を受けた件数	件/年	28	50	1,818	○	○	障害者1,556件、障害児262件 小児慢性特定疾患は1件(健康推進課)		社会福祉課 健康推進課
<p>施策 経済的負担の軽減をします</p>											
38	障害者医療受給者証交付者数	心身障害者及び精神障害者の年度末での障害者医療受給者証交付者数	人	心身障害者1,086人、精神障害者498人	心身障害者1,500人、精神障害者1,000人	心身障害者1,081人 精神障害者914人	×	○	H23.10から精神障害者手帳1・2級所持者に全疾患入通院の受給者証交付	制度の周知が図られている。	国保課
<p>施策 障害児教育・保育の充実を図ります</p>											
39	中軽度の障害児で保育を受けている人数	中軽度の障害児保育を受けている園児数	人	14	30	78	○	○	H25年度特別支援実施保育園(名和、渡内、明倫、東山、大田、横須賀、三ツ池)	特別支援対象園の拡充を毎年図り、受入人数も増加していることにより、障害児保育の充実が図られている。	幼児保育課
<p>施策 在宅福祉サービス利用を支援します</p>											
40	障害者ホームヘルプサービス利用時間数	身体、知的、精神障害者のホームヘルプサービス利用の年間時間数	時間/年	8,624.0	20,000.0	34,030.8	○	○	居宅：22885.75時間 移動：11145.0時間	各種福祉制度の充実により、在宅福祉サービスの利用が増大している。	社会福祉課

										施策 就労の支援に努めます	
41	障害者雇用補助金の受給者数	(総合計画指標102) 1年間で、障害者雇用補助金の対象となった障害者の数	年・人	69	140	142	○	○	愛知労働局職業安定部	28年4月から障害者の雇用の促進等に関する法律の一部を改正する法律が施行されることや、障害者雇用補助制度の定着等により、増加傾向にあり目標値を達成した。	商工労政課 企画政策課
										施策 スポーツ・レクリエーション活動の推進に努めます	
42	障害者スポーツ大会参加者数 サブ指標：機能回復訓練事業参加者数	毎年開催される東海市障害者スポーツ大会の参加者数 スポーツやレクリエーション活動状況を評価できるようにする	人	480 1,111	720 1,120	550 1,204	× ○	○ ○	障害者スポーツ大会に加え、障害児の水泳教室を開催するなど活動を推進してきた。		社会福祉課
										施策 文化活動等の推進に努めます	
43	障害者作品展の開催回数	福祉フェスタ、さつき福祉会の秋祭り、市内での文化行事での障害者作品展の開催数	年/回	2	5	0	×	×		文化活動の推進が進まなかった。	社会福祉協議会 社会福祉課
										施策 施設のバリアフリー化の推進に努めます	
44	福祉マップ更新頻度	福祉マップの情報内容の更新頻度		1回/3年	1回/年	1回/2年	×	○		必要とされる方への情報誌として周知は図られている。	社会福祉協議会
										施策 障害者の移動・交通手段の整備に努めます	
45	知的障害者ホームヘルプ移動介護利用時間数	知的障害者で、移動介護をホームヘルプサービスで利用した年間利用時間数	時間/年	3,819.0	12,000.0	—	—	—	H23年度から障害種別ごとの集計せず	タクシー料金の助成や市内循環バスの無料化等支援の充実が充実した。	社会福祉課
										施策 障害の特性にあった防災・防犯対策を推進します	
46	要援護者支援体制に登録されている障害者数	身体、知的、精神障害者で災害などの緊急時に、要援護者として登録されている障害者の数	人	0	1,000	246	×	○		ほぼ横ばいであるが、真に支援を必要とする人へ周知の工夫が必要。	社会福祉課

* 「目標値の達成状況」及び「現状値の変化」の凡例

○：数値が改善したもの ×：数値が悪化したもの —：比較のできないもの =：変化がないもの

○	6	18
×	20	4
—	1	3
=	0	2
S T	27	27

第5章 高齢者福祉計画

数値目標		成果指標算出方法	単位	平成15年度 現状値 (サブ指標は 平成20年度)	目標値 (平成26年度)	平成25年度 現状値	目標値の 達成状況	現状値 の変化	説明	施策の評価	担当課等
<p>施策 地域での助け合い・見守り活動を推進します</p>											
47	ミニデイサービス開催箇所数	社会福祉協議会などが開催するミニデイサービスの箇所数	か所	2	12	29	○	○	ふれあい・いきいきサロン	住民の意識は向上しているが、継続的な実施に向けての仕組み作りが課題である。	社会福祉協議会
<p>施策 地域の連携の強化を推進します</p>											
48	民生委員が参画するコミュニティ数	民生委員がコミュニティの委員として在籍しているコミュニティ数	団体	10	12	11	×	○	横須賀コミュニティは委員としての在籍者はいない	数値が横ばいであり、順調でない。	市民協働課
<p>施策 情報提供の推進を図ります</p>											
49	ホームページの更新頻度 サブ指標：ホームページの閲覧回数	社会福祉協議会及び市のホームページの更新頻度 福祉情報の発信状況を評価できるようにする	回/週 回/年	随時 133,135	1 150,000	1 172,577	○ ○	○ ○	社会福祉協議会 社協トップページ分と市ホームページ20%分	週に1度ホームページ上の情報を更新しており、情報の鮮度保持に努めている。目標値を達成しており、評価できる。	高齢者支援課
<p>施策 相談体制の充実を図ります</p>											
50	身近な相談員数（各町内会・自治会単位） サブ指標：民生委員が受けた相談件数	市民の身近な相談事項を行政につなげるため、各町内会・自治会に市民主体の相談員を新たに設置する 身近なところでの相談の状況を評価できるようにする	人 件/年	0 583	1 600	0 1,372	×	= ○	相談件数1人あたり16.5件	障がい者総合支援センターが設立される等一定の相談体制が構築ができた。	社会福祉課
<p>施策 利用者の権利を保護します</p>											
51	日常生活自立支援事業利用者件数	社会福祉協議会が実施する日常生活自立支援事業の市内の年間利用件数	件/年	15	150	30	×	○	日常生活自立支援事業	必要に応じたサービスの提供が明確化。	社会福祉協議会
<p>施策 地区・公民館活動を推進します</p>											
52	高齢者福祉関係講座参加者数 サブ指標：高齢者大学参加者数	市及び社会福祉協議会が主催する高齢者向け福祉セミナー（「消費者被害から身を守る」、「認知症について知ろう」など）の参加者数 高齢者の生涯学習支援の状況を評価できるようにする	人/年 人/年	224 548	500 600	2,982 465	○ ×	○ ×	悪質商法被害予防出前講座：184人、筋力づくり運動：948人、認知症予防啓発事業（回想法）：1,252人（社協）認知症出前講座（ホーター養成）：598人（高齢者支援課） 文化センターなど市内6箇所100人（定員）程度（健康講座など）	目標値を大幅に達成しており、一定の評価ができる。今後も講座の案内を積極的に推進していく。 参加者が固定化している	高齢者支援課 社会福祉協議会 文化センター
<p>施策 ボランティア活動を支援します</p>											
53	福祉活動を行うNPO法人数 サブ指標：行政とNPO協働事業の数	市内に主たる事務所の所在地があるNPO法人（特定非営利活動法人）で主に福祉活動を行う法人数 NPO活動状況を評価できるようにする	団体 事業	3 3	10 20	4 11	×	○ ○	東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛始め4団体 まちづくり協働事業の実施事業数（地域防災リガー育成事業始め11事業）	活動団体、組織等への支援を継続的に行い、NPO法人数は増加したが、目標値は達成できなかった。	市民協働課
<p>施策 ふれあいの場の充実と生きがいつくりを推進します</p>											
54	老人クラブの組織率	単位老人クラブに加入の高齢者／市内の65歳以上の高齢者×100	%	38.4	50.0	30.9	×	×	老人クラブ加入者：7,008人 65歳以上の人口：22,702人	高齢者の人口が増加する一方、老人クラブの組織率が減少した。趣味グループ等の活動が多様化したことも一因であるが、少しでも自宅に引きこもっている高齢者を減らすために、新規参加者の増加を促す対策を検討する必要がある。	高齢者支援課
<p>施策 就労支援を推進します</p>											
55	高齢者無料職業紹介件数	1年間に高齢者職業相談及び社会福祉協議会で高齢者に無料職業紹介をした件数	件/年	605	1,000	0	—	—	H20.12から地域職業相談室に変更のため、高齢者職業相談を実施していない。	相談の対象者を高齢者のみから年齢に関わらず全ての求職者としたこと等から、職業相談体制の充実、相談機能の強化が図られた。	商工労政課 社会福祉協議会
<p>施策 二次予防の推進を図ります</p>											
56	高齢者の健康診断を受けているかたの割合 サブ指標：貯筋はつらつ教室等介護予防事業参加者数	（「いきいき元気プランとうかい」の指標） 健康診断を受けている高齢者の数／アンケート回答総数×100 保健師等の指導のもとで、体の点検をしている状況を評価できるようにする。	% 人/年	82.6 567	85.0 600	89.3 1,540	○ ○	○ ○	H19、25年度に老人クラブにアンケート調査を実施した。 各年度参加者は述べ人数（貯筋はつらつ・百歳体操教室）、H23から健脚道場を含む	目標は上回ったが健診結果の効果的な活用が今後必要。	健康推進課
<p>施策 健康相談、健康教育の充実を図ります</p>											
57	60歳歯科検診で「健康」なかたの割合	（「いきいき元気プランとうかい」の指標） 歯周疾患検診の結果、60歳で「健康」な方／60歳受診者×100	%	3.2	10.0	3.7	×	○	歯周疾患健診60歳受診者を集計	目標を下回り、さらなる取り組みが必要。	健康推進課
<p>施策 健康意識の増進に努めます</p>											
58	高齢者で毎日運動をしているかたの割合 サブ指標：貯筋はつらつ教室等介護予防事業参加者数	（「いきいき元気プランとうかい」の指標） 毎日運動をしている高齢者の数／アンケート回答総数×100 保健師等の指導の元に体の点検をしている状況を評価できるようにする	% 人/年	51.4 567	70.0 600	40.1 1,540	×	×	H19、25年度に老人クラブにアンケート調査を実施した。 各年度参加者は述べ人数（貯筋はつらつ・百歳体操教室）、H23から健脚道場を含む	目標を下回り、啓発や環境づくりなどのさらなる取り組みが必要。	健康推進課

										施策 在宅福祉サービスの充実を図ります	
59	配食サービスの配食数	1年間にひとり暮らし高齢者などに配食サービスをした食数	食/年	28,996	35,000	41,889	○	○		配食サービスの配食数は年々増加している。今後も引き続き配食サービスを推進していく。	高齢者支援課
										施策 経済的負担の軽減をします	
60	後期高齢者医療制度被保険者数	後期高齢者医療制度による医療等の給付を受けた高齢者の人数	人	8,476	12,000	10,327	×	○	H20年度から後期高齢者医療制度の開始により、名称変更となる	制度の周知が図られている。	国保課
										施策 外出支援の充実を図ります	
61	リフト付福祉タクシー料金助成登録者数	リフト付福祉タクシー料金助成登録をした高齢者の人数	人	53	100	316	○	○		目標値を大きく上回る現状値となった。今後も引き続きサービスを推進していく。	高齢者支援課
										施策 介護予防と普及啓発事業の推進に努めます	
62	介護予防教室と健康教室の参加者数	1年間に、老人クラブ健康教育事業として実施している介護予防教室と健康教室の参加者数	人/年	1,550	3,000	3,441	○	○	介護予防事業参加者と老人クラブ等の健康教育参加者	目標は上回ったが健診結果の効果的な活用が今後必要。	健康推進課
										施策 介護者支援の充実を図ります	
63	介護用品支給者数	1年間に介護用品の購入券を支給した高齢者の数	人/年	72	150	71	×	×		前年度を18人下回り、71人となった。今後も周知の徹底を図っていく。	高齢者支援課
64	介護者教室参加者数	1年間に介護者教室に参加した人の数	人/年	200	400	251	×	○	家族支援プログラム 44人 介護相談交流会 110人+97人	介護者教室参加者数は、前年度よりも数値が減少している。今後も参加者数の増加を図っていく。	高齢者支援課
										施策 認知症高齢者家族への支援・認知症予防を図ります	
65	徘徊高齢者家族支援サービス利用者数	1年間に徘徊高齢者家族支援サービスの利用を受けた人の数	人/年	11	100	9	×	×		徘徊高齢者家族支援サービス利用者数は、前年度よりも数値が増加している。今後も引き続き推進していく。	高齢者支援課
										施策 福祉施設の整備、養護老人ホームへの入所支援をします	
66	市内高齢者の養護老人ホーム入所者数	市内高齢者で養護老人ホームに入所した人の数	人	17	30	14	×	×		市内高齢者の養護老人ホーム入所者数は、前年度と同数を保っている。	高齢者支援課

* 「目標値の達成状況」及び「現状値の変化」の凡例

○：数値が改善したもの ×：数値が悪化したもの —：比較のできないもの =：変化がないもの

○ 11 18

× 14 6

— 1 1

= 0 1

S T 26 26

第6章 児童福祉計画

数値目標		成果指標算出方法	単位	平成15年度 現状値 (サブ指標は 平成20年度)	目標値 (平成26年度)	平成25年度 現状値	目標値の 達成状況	現状値 の変化	説明	施策の評価	担当課等
施策 子どもの地域での暮らしに関わる団体を支援します											
67	野外活動世話人研修会参加者数	1年間にこども会が実施する野外活動世話人研修会の参加者数	人/年	206	400	99	×	×	[東海市子ども会連絡協議会] 野外活動世話人研修会(野外 活動の講話、飯盒炊事の実技・ 実習、キャンプファイヤー実技等) H21年度から1日で実施	4つの連合会(平洲、富木 島、加木屋、三ツ池)がデイ キャンプを実施するため研修 会に参加しているが、他の連 合会は今後も実施予定がない ため目標値の達成は難しい。	女性・子ども課
施策 子どもに対する犯罪被害や非行を防止する活動をします											
68	地域見守り活動の実施回数	小学校区単位に民生委員、老人クラブ会員などの地域活動団体が 子どもの犯罪被害防止するため地域巡回などを行っている月間の回数	回/月	1 (モデル地区)	2	5~20	○	○	老人クラブ及び自主防犯ボランテ ィア15団体が巡回している。	子どもに対する犯罪被害を 防止する活動が充実した。	交通防犯課
施策 児童福祉ボランティアの育成を進めます											
69	ボランティア活動相談員数 サブ指標：相談があった件数	ボランティアセンターに設置した相談員数 相談状況を評価できるようにする	人 件/年	13 137	20 200	13 160	×	= ○	ボランティア相談員 相談件数	ボランティアによる相談に より窓口機能が向上した。	社会福祉協議会
施策 ボランティア連絡協議会の活動を支援します											
70	ボランティアセンターの登録者数 サブ指標：ボランティア育成講座参加者数	社会福祉協議会に設置しているボランティアセンターの登録者数 ボランティアを増やす体制を評価できるようにする	人 人/年	1,050 —	3,000 100	2,196 75	×	○ —	ボランティアグループ：2,047人 個人ボランティア：149人 回想法グループ：15人、自助 具：30人、手話奉仕員：10人、 傾聴講座20人、のべ75人	継続し周知を図る。 継続活動者の増から、講座 の実施について内容も含め検 討を進める。	社会福祉協議会
施策 情報提供の推進を図ります											
71	子育て育児講座の参加者数	1年間に子育て総合支援センターが実施している 子育て育児講座の参加者数	人/年	196	500	461	×	○	(保護者参加者数) 育児講座：3回131人 10周年記念講演会：1回49人 サクルーグ：1回19人 10周年記念全体交流会：1回83 人 お父さんの遊び方講座： 3回179人	平成25年度はファミリー・ホ ート・セン ターの10周年記念行事として規 模を拡大し講座を開催したた め参加者数が増加した。また 、父親対象の講座の参加者 数が増加した。目標値には達 していないが年々参加者は増 加している。	女性・子ども課
施策 利用者の権利を守るように努めます											
72	母子・父子相談件数	(総合計画指標58) 1年間に家庭児童相談室に母子・父子に関する相談があった件数	件/年	600	1,070	640	×	○	毎日9:00~16:00	平成23年度は、ひとり親家 庭が安心して子育てするため の経済的自立とそれに伴う子 育て環境整備の充実や母子自 立支援員による求職相談、貸 付相談などにより大幅な増と なった。なお、本指標は相談 件数であり、減少したことが 悪いこととは限らない部分 があることに留意が必要であ る。	女性・子ども課
施策 福祉活動体験の機会をつくります											
73	中学生のボランティア体験教室の参加者数	社会福祉協議会が実施する中学生のボランティア教室の参加者数	人/年	90	200	237	○	○	夏休みボランティア体験	学校との連係が確立。継続 実施が必要。	社会福祉協議会
施策 地域活動への参加を進めます											
74	中学生の地域運動会への参加者数	1年間に中学生が地域運動会に参加した人数(各中学校から聴取)	人/年	537	600	1,780	○	○	各小学校区で開催された運動 会に参加者またはボランティ アとして参加した中学生の人 数	中学生の地域運動会への参 加者数は目標値を大きく上 回っている。これは参加しや すい環境であったと考えられ る。	スポーツ課
施策 外国を理解すること・地域を学ぶこと・福祉を理解することを推進します											
75	国際理解、交流のある人の割合	(総合計画指標129) 現在外国人と交流している、過去2~3年間に外国人と 交流したことがある人の数/アンケート回答総数×100	%	14.5	25.0	19.1	×	○		平成24年度と比較し、平成 25年度は2%程度低下した。 総合的には、近年はほぼ横ば いである。無関心な層への働 きかけ及び若年層への継続的 な機会の提供が必要である。	秘書課 企画政策課
施策 親と子、高齢者と子、異年齢の子どもがふれあう機会をつくります											
76	保育園開放に参加した人数	1年間に保育園開放事業に参加した人の数	人	2,178	2,500	2,147	×	×	市内18保育園で、年間7回開 催。	共働き世帯の増に伴い地域 での対象者が減となったこと や、子育て支援センターの充 実により参加者が目標値を下 回ったものである。また、イ ベント的な内容を求めている 保護者が多くなってきている ことから保育の内容に工夫を 加える必要がある。	幼児保育課

										施策 子どもが安心して活動できる場を整備します	
77	児童館一人当たり利用回数	(総合計画指標59) 1年間に、児童館を利用した子ども延べ利用者数/児童総数	回/年・人	21	30	9	×	×		放課後児童クラブの実施場所 が児童館から小学校へ移行 (平成23年4月移行完了) したことにより利用児童数 が減少した。しかしながら、飽 和状態が解消されことによ り、利用者が緩やかではある が伸びてきてはいるが、一人 当たりの利用回数の推移は順 調ではない。	女性・子ども課
										施策 保育園・幼稚園の基盤を整備します	
78	通常保育定員数	通常保育している児童の定員数	人	2,230	2,490	2,615	○	○	通常保育 (7:30~8:00・16:00~18:00の 延長を含む)	施設の建替や増築により定員 を増加することで低年齢児の 増加に対応することができ た。	幼児保育課
										施策 保育サービスの充実に努めます	
79	時間延長保育利用人数	(次世代育成支援行動計画指標) 延長保育を利用している人の数	人	265	510	670	○	○	時間延長保育 (18:00~19:00)	保護者の就労時間等が長く なったことに伴い、時間延長 保育を利用する児童も毎年増 加しており、保護者のニーズ に応えたものとなっている。	幼児保育課
										施策 親子がいろいろ交流できる機会の充実に努めます	
80	1回当たりの親子遊び方教室参加者数	(総合計画指標60) 各児童館で開催する親子遊び方教室の総参加者数/開催回数	人/回	27	36	29	×	=	全児童館で開催 前期 4月~9月:170回 後期10月~3月:240回	申込みの多い児童館4館は、 2グループで開催しているこ とから、1回当たりの参加者 数は増加しなかったが、定員 に余裕のある実施により、安 全で、きめ細やかな教室運営 ができた。	女性・子ども課
										施策 子どもの虐待防止を図ります	
81	この1年で、自分の周囲に 児童虐待があると感じた人の割合	(総合計画指標53) 過去1年間に、自分の周囲に児童虐待が有ると感じた人の数 /アンケート回答総数×100	%	5.4	3.0	5.0	×	○		関係機関の連携強化、さらに 市民の関心が高まってきたこ ともあり、市民からの通報に よる早期対応が可能となっ た。	女性・子ども課 企画政策課
										施策 子育てを支援する仕組みの充実に努めます	
82	ファミリー・サポート・ センター利用件数	(総合計画指標57) 1年間にファミリー・サポート・センターの相互援助活動を 利用した件数	件/年	0	2,800	1,022	×	○	H25年度 依頼会員:521人 援助会員:114人 両方会員:74人	全体の利用件数は減少してい るが、保育所・幼稚園の送 迎、登園前・帰宅後の預かり 件数が増加している。利用件 数の減少は他のサービスが充 実したためである。	女性・子ども課 企画政策課
										施策 母子保健事業の充実に努めます	
83	子育てを楽しんでいる人の割合	(「いきいき元気プランとうかい」の指標) 子育てを楽しんでいる時がよくある、ときどきあるとの回答数 /アンケート回答総数×100	%	95.5	100.0	97.1	×	○	乳児健診時の問診表より集計	子育てに関する安定感はある が、安心して子育てできるよ うにするために必要な情報を 今後も提供していく必要があ る。	健康推進課
										施策 経済的負担の軽減をします	
84	子ども医療助成受給者証の交付件数	子ども医療助成受給者証の交付件数	件/年	4,886	7,800	17,853	○	○	H23.12から中学校卒業までの 通院に拡大した	制度の周知が図られている。	国保課
										施策 ひとり親家庭を支援します	
85	母子自立支援員数 サブ指標：相談件数	母子家庭・寡婦が自立できるように相談などを行う者の数 ひとり親家庭に対する相談体制を評価できるようにする	人 件/年	1 805	1 1,070	1 640	○ ×	= ×	1F福祉介護窓口において母子 等の相談を受けている。	相談件数に増減はあるが、1 人で対応できている。	女性・子ども課
										施策 障害児を持つ家庭を支援します	
86	障害児のホームヘルプ利用時間数	障害児ホームヘルプの年間利用時間数	時間/年	1,400.5	3,000.0	7,914.5	○	○	居宅:3051.0時間 移動:4863.5時間	サービスに対する周知と、 サービス利用が増加したこと による。	社会福祉課

* 「目標値の達成状況」及び「現状値の変化」の凡例
○：数値が改善したもの ×：数値が悪化したもの —：比較のできないもの =：変化がないもの

○	8	15
×	15	4
—	0	1
=	0	3
S T	23	23